科目名	卒業研究ゼミ2(卒業必修)								
授業形態	演習		学年	2					
開講時期	2023 年度 前期~後期		単位数	2					
担当教員	加藤 秋人								
内容および計画	【内容】 種々の企業は我々の生活において必要な、あるいは我々の生活を豊かにするための財やサービスを供給している。そうした企業のうち 99.7%は中小企業である。このゼミでは中小企業を中心として、さまざまな企業がどのような戦略で生き残りを図っているのか、どのような価値を創造しているのか、あるいはどのような問題点を抱えているのか、それぞれの興味に応じて調査・研究を進め、卒業研究の完成を目指す。								
	【計画】 前期:文献の集め方をレクチャーしたうえで、受講生がそれぞれ興味を持つ文献・論文を読み発表する。また、それを踏まえて、卒業研究の具体的な内容や方法について発表・決定する。 後期:受講生がそれぞれ卒業研究を進め、その進捗状況を報告するとともに内容等について議論する。								
1	ガイダンス:ゼミの進め方についての案内・相談と、受講生との意見交換								
2	調査研究分野の設定と文献の探し方について								
3	報告予定の文献に関する意見交換								
4	文献調査に関する発表								
5	文献調査に関する発表								
6	文献調査に関する発表								
7	文献調査に関する発表								
8	文献調査に関する発表								
9	卒業研究の進め方に関するレクチャー:テーマ設定								
10	卒業研究の進め方に関するレクチャー:論文執筆のルール								
11	卒業研究の進め方に関するレクチャー:教員の執筆経験から								
12	卒業研究計画報告・議論								
13	卒業研究計画報告・議論								
14	卒業研究計画報告・議論								
15	卒業研究計画報告・議論								
16	卒業研究の中間報告・議論								
17	卒業研究の中間報告・議論								
18	卒業研究の中間報告・議論								
19	卒業研究の中間報告・議論								
20	卒業研究の中間報告・議論								
21	卒業研究の中間報告・議論								
22	卒業研究の中間報告・議論								
23	卒業研究の中間報告・議論								
24	卒業研究の中間報告・議論								
25	卒業研究の中間報告・議論								
26	卒業研究の中間報告・議論								
27	発表用スライドの作り方								
28	卒業研究の最終報告・議論								
29	卒業研究の最終報告・議論								
30	卒業研究の最終報告・議論								
教科書									
	タイトル	著者名	出版社		ISBN	発行年			

参考書								
成績評価								
	割合(%)							
卒業研究の完成度					50			
発表の内容								
ゼミへの参加態度(積極性など)								
学習到達目標	・自ら疑問や課題を見出し、それに対して論理的・学術的なアプローチで自分なりの解や説明、あるいは意見を持てること。 ・学術という世界の手法や考え方を理解し、実践できるようになること。 ・企業や自治体・地域などを通じて、社会におけるさまざまなことに関心を持ち、自身の将来について考えられるようになること。							
先修条件								
実務経験								

授業計画は受講生との相談によって変更することがあります。希望があれば遠慮なく教えてください。

その他